



2020年春季学術講演会 シンポジウム

「有機トランジスタ：新たなるフロンティアを目指して」

Organic Transistors: Exploring New Frontiers

日時：2020年3月14日 13:30～

場所：上智大学 四谷キャンパス

企画の趣旨：

有機トランジスタは1980年代に日本で誕生し、2000年代に著しい発展を遂げたが、世界的に見てもその主要な舞台は応用物理学会であった。これまでに、トランジスタとしての性能を向上させ、印刷プロセスを実現し、いくつかの応用を提示できるまでに発展してきたが、現在、その先に何を目指すべきかについて分野全体で考えるべき段階に入っていると思われる。有機トランジスタ研究の次の大きなステップを再びここ応用物理学会から生み出すために、この分野の主要研究者が一堂に会し、新たなチャレンジを議論するための場として本シンポジウムを開催する。招待講演によって、この分野がこれまでに成し遂げてきた成果を概観しながらこの先進むべき方向性を照らし出し、一般講演では、新たな道を切り開く挑戦的な研究成果が発表されるものと期待している。それらをきっかけにして、会場全体が考え、活発な議論を行うシンポジウムとしたい。

招待講演者：



1. Karl Leo (Technische Universität Dresden)
「Vertical organic transistors: Basics and applications」



2. 工藤 一浩 (千葉大)
「有機トランジスタに描く夢：誕生から発展まで」



3. 内藤 裕義 (大阪府立大)
「有機トランジスタのインピーダンス分光：物性評価と動作特性」



4. 時任 静士 (山形大)
「印刷型有機薄膜トランジスタと集積回路応用」



5. 瀧宮 和男 (理研)
「低分子有機半導体：高移動度化と将来展望」



6. 竹谷 純一 (東京大)
「有機単結晶トランジスタの応答速度と集積回路」



7. 横田 知之 (東京大)
「超フレキシブル／ストレッチャブル電子回路と将来展望」

【世話人】中村雅一 (奈良先端大) 酒井正俊 (千葉大)、
渡邊康之 (公立諏訪東理大)、北村雅季 (神戸大)、永瀬隆 (大阪府立大)